

# 「絹が生まれる場所」展

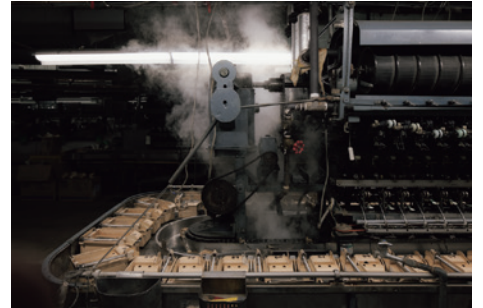
— 絹と人のこれまでとこれから —

2025. **2.14** (金) - **26** (水) 11:00 - 19:00  
最終日は17:00まで

**BankART KAIKO**

横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK&WHITE 1F  
みなとみらい線馬車道駅2a出口すぐ

入場無料



左:養蚕農家建築「大丸屋」の二階で繭をつくる「回転まぶし」、右上:製糸場に届いた繭袋、右下:国産繭で生糸を生産する碓氷製糸株式会社の自動糸繰機械(撮影:新津保建秀)

官製初の製糸機械工場が設立された群馬県と横浜市は、生糸生産地と生糸商業・海外輸出地として明治時代から深く関わり、生糸の輸出で栄えた横浜市内には現在でもその歴史を伝える様々な施設が残っています。この施設の一つである輸出生糸の貯蔵に使用されていた倉庫の一棟を復元した文化施設「BankART KAIKO」を会場に、群馬県と横浜を再び繋ぎ、国産絹に関する展覧会を開催します。

70年代半ばより、人々の暮らし方が西洋化され国産生糸の生産量と養蚕農家が減少し続けている中、群馬県では現在でも、伝統的な養蚕農家建築で昔ながらの道具で繭を生産し、60年代に導入された世界標準の自動糸繰機械で生糸生産を続けています。また、これら技術の継承と生産向上に向け新しい制度の整備と取り組みが2016年から始まり、伝統を守りながら新しい蚕糸業の確立に向き動き始めています。

本展は、蚕糸業の中心地である群馬県の現場や日本国内の蚕糸業の現状を伝えるパネルや、クリエイティブな視点による絹素材の活用提案などを展示。生糸に係る施設で来場者が、その長い歴史に思いを馳せながら国産絹に親しみを深める機会を提供します。本展を通じ、来場者と国産絹の大きな魅力と現状を共有しながら、絹と人の将来と希望を育む一歩となることを願っています。(床下土風)

## 展示1 養蚕と製糸の様子 ー群馬県の現場よりー

- ・写真パネル展示 (撮影:新津保建秀)  
蚕から生糸まで、国産絹が生まれる空間を撮りおろしたパネルの展示
- ・記念扇子展示 (制作:シルヴァン・ル・グエン)  
富岡産絹地を使用した富岡製糸場世界遺産登録10周年記念扇子の展示

## 展示2 国産絹を知る・触れる

- ・様々な絹素材に触れる体験型展示 (生糸ラボ)
  - ・絹の歴史を知る資料展示 (シルクロード・ネットワーク協議会)
  - ・繭と糸の実物と養蚕の歴史資料の展示  
座繰りの実演と体験 (特別出展:一般財団法人大日本蚕糸会)
- 座繰り実演・無料体験 2.24(月・祝) 13:00-17:00 申込不要

## 巡回展 記念扇子の特別展示

- ・3.17(月)ー30(日) 会場:群馬ロイヤルホテル (群馬県前橋市大手町1丁目9-7)  
巡回展の詳細は、特設ウェブサイトをご確認ください。

## ー イベント ー

**2.22(土)**  申込不要

**横浜スカーフ親善大使  
スカーフアレンジメントショー**  
時間: 14:00-14:30

**KIDS RUNWAY**  
時間: 15:00-15:30

**2.23(日・祝)**  要申込

**横浜スカーフ  
染色・ハンドプリント  
セット体験**  
時間: 11:00-17:00 \*所要時間約20分  
参加費: ¥1500 (お持ち帰りスカーフ材料費込)

**2.24(月・祝)**  要申込

**横浜スカーフ  
スカーフアレンジ教室**  
時間: ①13:00-14:00 \*各回定員10名  
②15:00-16:00  
参加費: ¥2000 (お持ち帰りスカーフ付)

お申込みは  
こちら



Googleフォーム

## 「絹が生まれる場所」展 ー絹と人のこれまでとこれからー

2025. **2.14(金)ー26(水)** 11:00-19:00  
\*最終日は17:00まで

会場: **BankART KAIKO** 横浜市中区北仲通5-57-2

お問合せ: 床下土風 info@yukashita-tsuchikaze.jp



特設サイト

共催: (株)広告新聞、(株)群馬ロイヤルホテル、NIPPON語学院、床下土風

協賛: さあ、街から未来をかえよう  
**三井不動産グループ** MITSUI FUDOSAN GROUP 三共生興(株) 横浜繊維振興会

後援: 横浜市 にぎわいスポーツ文化局、群馬県、富岡市、ヨコハマ経済新聞  
シルク博物館、シルクロード・ネットワーク協議会、隈研吾建築都市設計事務所 (順不同、敬称略)

